

ボーリング柱状図

調査名 一級河川江の川水系小原川 通常砂防工事に伴う業務委託

ボーリングNo.	5	1	3	2	7	5	2	1	0	0	3
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	HE8-3		調査位置	広島県安芸高田市吉田町上入江			北緯	34° 36' 28.5100"			
発注機関	広島県西部建設事務所 工務第二課			調査期間	平成28年 7月29日～平成28年 7月30日			東経	132° 38' 26.7700"		
調査業者名				主任技師				現代理人	コア鑑定者		
ボーリング責任者				ボーリング責任者				ハンマー	半自動型		
孔口標高	262.06m	角	180° 上 下 0°	方	北 270° 西 0° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	東邦地下工機D1-C48		
総掘進長	8.00m	度		向				エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13MEK		
								ポンプ	東邦地下工機BG-3C		

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	硬軟	割れ 目 の 状 態	風化 質	記 事	コア採取率 → (%)	岩級 区分	孔内水位 / 測定 月日	標準貫入試験		N 値	原位置 試験	室内 試験	掘進状況				
													深 度 m	打撃 回数 / 貫入 量 回/cm				掘進 月日	掘進 速度 cm/時	コア 径 / 孔 壁 保 護	給 水 量 MPa / 分	回 転 数 rpm / 分
1	261.66	0.40		礫混り砂	暗茶褐				表土。礫混り砂。φ=5mm~20mm程度の角礫を含む。少量の植物片を含む。	(100)		7/30 1.40	1.15	7/30	100	0.0	0.0	0	0	0		
2	260.06	2.00		砂	淡茶褐				砂礫。砂は中~粗砂を主体とし、礫は垂角礫で、最大φ50mm程度を多く含む。礫種は泥岩が多く、砂岩、流紋岩も含む。	(100)			1.45	12/30								
3				砂礫	暗茶褐					(100)			2.15	15/30								
4				砂礫	暗茶褐					(100)			2.45	15/30								
5	257.21	4.85		砂礫	暗茶褐					0 [0] (100)			3.15	24/30								
6	256.06	6.00		流紋岩	明茶褐		III c δ I		風化した流紋岩。コアは主に短柱状を呈す。ただし、GL-4.85~5.00mは特に軟質で、指で岩片状に崩れる。同区間は岩組織がやや不明瞭である。	10 [20] (100)	D		3.45	50/8								
7	254.74	7.32		流紋岩	明茶褐		IV γ			0 [0] (100)			4.45	50/22								
8	254.06	8.00		流紋岩	明茶褐		C II		流紋岩。比較的硬質となり、ハンマーの打撃で割れる程度の硬さである。亀裂面は、風化により茶褐色を呈す	37 [47] (100)	CM		5.10	50/22								
9													5.78	貫入不能								
10													6.10	貫入不能								
11													6.33	貫入不能								
12													7.10	貫入不能								
13													7.32	貫入不能								